

| | | | | |
|--------|---|--------------------|----------|--------------------------|
| 学校教育目標 | 「ともに生きる子 ー信頼と安心と笑顔の学校ー」 | | | |
| | 学校のあいことば「かながえよう! かかわろう! かがやこう!」 (知)よさを発揮し粘り強く取り組む子 (公)上白根のまちに生き ともに歩む子 (徳)自分も友達も大切にす子 (開)ともに学び合い高め合う子 (体)心と体を健やかに育む子 | | | |
| 学校概要 | 創立 46 周年 | 学校長 山崎 由美 | 副校長 伴野 均 | 2 学期制 一般学級: 16 個別支援学級: 4 |
| | 児童生徒数: 512 人 | 主な関係校: 旭北中学校 白根小学校 | | |

| 教育課程全体で育成を目指す資質・能力 | 中ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
|---|------------------------|--|
| <p><自分で考え 判断し 行動する力> <人と豊かに関わり つながる力></p> | <p>旭北中学校 白根小学校</p> | <p>自分の気持ちや考えを上手に表現するとともに人の話に耳を傾けてコミュニケーションができ、さらに高い自尊感情をもって自他ともに大切に目標に向かって努力できる子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同授業研究会を通じた授業改善、授業力の向上。 ・合同研修会を通し、児童・生徒の「観」の共有。 ・教職員間の交流、相互理解。 |

| | |
|--------|---|
| 中期取組目標 | <p>○子ども一人ひとりが自分の考えをもち 自分自身のよさを発揮し、まちとともに歩む学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが互いに関わりあいながら学ぶ授業づくりを推進し、学力を向上させます。 ・自分で考える機会を意図的に作り、挑戦する気持ちを大切にす によりよい学校生活を送れるようにします。 ・まちとのつながりを大切に、まちを愛し、まちから必要とされる関係を構築します。 |
|--------|---|

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|---|--|
| <p>確かな学力</p> <p>担当 重点研究</p> | <p>・学力学習状況調査の分析を行い、児童の学習課題を各学年で明らかにす。その上で身に付けたい力と手だてを明確にした朝学習や授業研究計画を立てる。児童の表現する場面を学級学年中心に必ず位置づけ、表現することに慣れさせる。</p> |
| <p>豊かな心</p> <p>担当 人権・福祉・なかよし教育</p> | <p>いろいろな立場の人とのかかわりを発達段階ごとにさらに整理する。知ったことから実践につなげていけるように学年ごとのめあてを明確にして取り組む。職員研修では子どもたちの学習に直結する研修を行う。</p> |
| <p>健やかな体</p> <p>担当 体育部</p> | <p>体育科の授業改善を図るために、職員研修を実施していく。実施した体力テストの結果を分析し、児童の課題が解決できるような指導の方向性や日常の取組みを定めていく。また、結果は児童の健康手帳に記録したり、分析内容を学校だより等に載せて保護者と共有して、家庭や地域と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。</p> |
| <p>特別支援教育</p> <p>担当 特別支援教育部</p> | <p>特別支援研修を実施し、どの子にとっても安心できる教室環境づくり、授業づくりができるようにする。取り出しの授業を始めとし、個に寄り添った指導ができるようにセンター機能を積極的に活用する。</p> |
| <p>交流活動</p> <p>担当 人権福祉</p> | <p>引き続き「なかよしデー」の取組を行い、かかわりを深めながら高学年のリーダーシップや企画運営のスキルを伸ばす。後期から、なかよし活動(5校時)の前になかよし班でなかよし教室を掃除する「なかよし掃除」に取り組む。奉仕活動を異学年で協力してやり遂げる経験を積むことで、さらにかかわりを深めたい。</p> |
| <p>地域連携 学校運営協議会</p> <p>担当 教務部</p> | <p>①地域ボランティアの協力を得ながら、町のよさを見つける活動や学習は継続的に行っていききたい。②指導計画の中に地域と連携した学習を位置付け、見通しを持って活動できるようにする。③学校運営協議会での意見を大切に、保護者・地域と連携した学校運営ができるようにする。</p> |
| <p>特別活動</p> <p>担当 特別活動</p> | <p>学級会で使用するツールや情報は、各担任に配付できるようにする。また、各学年の話合いの目標を、新学習指導要領を参照しながら明確にし、自分の考えをもち、考えの交流ができるようにする。行事の中で子どもたちが考えたり判断したりする場面を意図的に作る。</p> |
| <p>いじめへの対応</p> <p>担当 いじめ防止対策委員会</p> | <p>毎月の職員会議での配慮が必要な児童の全職員での把握、いじめ防止対策委員会でのいじめ認知の確認、専任が収集した児童の問題行動の事案の職員全体での共有を積極的に進めていく。</p> |
| <p>人材育成・組織運営 (働き方改革)</p> <p>担当 教務部</p> | <p>①学校経営計画の中に組織の仕事内容と分担の一覧を作成し、誰がどんな仕事を行っているのかを職員全体で共有できるようにする。②各組織ごとに、年間計画を作成し見通しをもった仕事ができるようにする。③環境を整備し、だれが見ても今までの仕事が変わり見通しをもって仕事にとりかかれるようにする。</p> |